

森のびょういん

動物健康管理センター「森のびょういん」が完成しました!



平成20年3月、動物健康管理センター「森のびょういん」が竣工しました。「森のびょういん」は、診察・手術室と検査室、そして入院室の一部が園路からご覧いただけるようになっています。動物の治療・看護についての関心が高まるなかで、動物園での仕事の一端をご覧いただいて、より理解を深めていただこうというものです。新しい施設の建設にともない、新たな診察・検査機器も導入しました。また、診療・検査室と入院室が隣接しているため、これまでよりも迅速な治療と検査ができるようになっています。ここでは、普段ご覧いただけない内部の様子も併せてご紹介します。

- 建物概要**
- 建築面積：408.22㎡
 - 延べ面積：376.83㎡
 - 階数：1階（平屋建）
 - 構造種別：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
 - 事業費：153,158千円



治療の様子

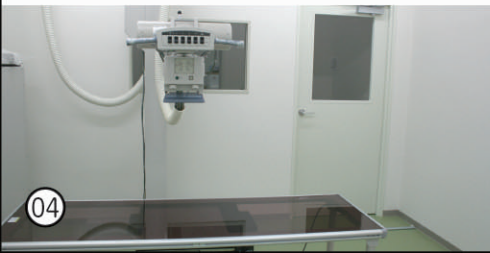
③ 診察・手術室

動物の診察と手術を行う部屋です。麻酔器や无影灯など、おなじみの医療器具が設置されています。



④ 検査室

血液や糞などの検査をします。顕微鏡や遠心分離機などの検査機器を設置しています。



⑤ X線撮影室

レントゲン撮影室です。最新のデジタル方式で、人間用と同じものです。



⑥ 解剖室

死亡原因を調べるため、病理解剖を行います。遺体の保管用に大型の冷凍・冷蔵庫が併設されています。



⑧ 屋外運動場

⑦の病室とつながっている屋外運動場で、また日当たりが良いように、南向きとなっています。ドアの開閉により隣同士の運動場をつなげて、広く使うこともできます。



⑦ 病室

主に小動物用の病室です。色々な種類の動物たちがケージに入って入院中です。



病室を通路から見た様子

② バードケージ

治療中の鳥を収容するケージです。



入院中のオオタカ

① ビューポイント

診察の様子などがご覧いただけます。

※ビューポイントでは、お客様に病院内部の様子を自由にご覧いただけます。(状況により、ご覧いただけない場合があります。)

①から見た診察室・手術室

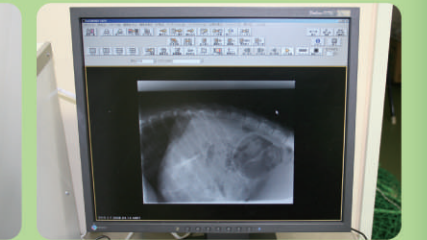


森のびょういんでの治療

獣医師 安永 千秋



X線画像コンピュータ解析装置。映してすぐ画像が見ることができます。



カモシカのレントゲン画像。デジタル処理方式なのでパソコンの画面で鮮明に確認できます。

3月に完成した「森のびょういん」。入院動物の第一号は野生のニホンカモシカでした。まだ以前の病院からの引越しが済んでいなかったのですが、衰弱しており、しっかりと立てない状態で保護され、動物園に運び込まれたため、急遽入院となりました。新しい病院の入院施設は、カモシカくらいの大きさの動物までは入院できる大きな病室があります。この衰弱したカモシカには、早速点滴などの治療を行い、さらに詳しく調べるため、レントゲン検査なども行いました。これまでのレントゲン検査では古い器械で扱いにくく、苦勞していたのですが、新病院の完成とともに

新しい器械が入り、細部までしっかりと検査が行えるようになりました。レントゲン検査では特に異常が認められなかったため、点滴治療を数日間続けたところ、少しずつ餌も食べてくれるようになり、何とか退院となりました。退院後は、秋田県の鳥獣保護センターに移送しましたが、残念ながら後に亡くなってしまったとのこと。

野生動物の命を救うことは簡単なことではなく、その難しさを痛感している毎日ですが、この新しい病院を拠点に、少しでも動物が元気に過ごせるように頑張りたいと思います。